

令和元年度（平成30年度分） 桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

		整理番号	2		
1	事務事業名	議会情報発信推進事業		担当	部課係(担当) 議会議務局議事課
第 第 第 将来計画	2 新生総合計画での位置付け（基本計画）		3 根拠法令等		4 予算科目
			議会基本条例		1 款 1 項 1 目
	章				◎ 議会情報発信事業
	節				5 事業期間
項				年度から	年度まで
将来計画				6 事務分類	法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務
				7 国県補助	
8 市政運営方針での位置付け		有 <input checked="" type="radio"/> 無		9 総合戦略への掲載	
				有 <input checked="" type="radio"/> 無	
目的		誰・何を（対象）		どのような状態にしたいか（意図）	
		市民に対して		桐生市議会の活動に関心を持ってもらう	
方法		<input type="radio"/> 直接実施 <input type="radio"/> 委託・指定管理 <input type="radio"/> 補助金 <input type="radio"/> 貸付 <input type="radio"/> その他（ ）			
10 事業概要	事務事業の詳しい内容及び前年度からの改善内容（30年度実施した内容を必ず記載）				
	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる議会中継 ・議会報告会・意見交換会の開催 ・議長記者会見の開催 ・SNSの活用 				
11 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）					
業務名		業務内容概要			
インターネットによる議会中継		市政に関し、より高い関心を多くの方々を持っていただくために、平成25年第4回定例会からインターネットによる本会議放映を実施している。			
議会報告会・意見交換会の開催		定例会の議決結果など市民に直接報告する機会を設けるとともに、市政に関心の高い市民との意見交換会を実施している。			
議長記者会見の開催		議会活動を広く周知するため記者会見を開催し、議長による情報発信を実施している。			
SNSの活用		情報の伝播・拡散に実効性のあるSNSを活用し、広く市民に対し議会情報を発信している。			

II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト		単位	29年度（実績）		30年度（実績）		令和元年度（見込み）		
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	1,071		1,073		8,247	
	人件費		千円	3,960		12,240		14,400	
	内訳	職員	人/千円	0.55人 3,960		1.7人 12,240		2人 14,400	
		嘱託・臨時職員・パート	人/千円						
	総コスト		千円	5,031		13,313		22,647	
市民1人あたり（H31.3.31時点）		円	45		120		203		
財源内訳	国・県支出金		千円						
	起債		千円						
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円						
	その他特財		千円						
	一般財源		千円	5,031		13,313		22,647	
2 活動指標	インターネットによる本会議放映日数	目標値	日	19		17		19	
		実績値	日	19		17		19	
		達成度	%	100.0		100.0		100.0	
		目標値							
		実績値							
		達成度	%	#DIV/O!		#DIV/O!		#DIV/O!	
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	インターネット視聴件数	目標値	件	3,039		2,781		2,664	
		実績値	件	3,039		2,781		2,664	
		達成度	%	100.0		100.0		100.0	
		目標値							
		実績値							
		達成度	%	#DIV/O!		#DIV/O!		#DIV/O!	
4 どのような成果と効果が得られたか。⇒ 別紙に記載する。									

III 事業の評価(CHECK)

事務事業名	議会情報発信推進事業
-------	------------

評価	以下の(1)から(20)までのそれぞれの項目について 5点:当てはまる。3点:概ね当てはまる。2点:どちらともいえない。1点:あまり当てはまらない。0点:当てはまらない。 の5段階で評価	評価点数
必要性	(1) 社会情勢や経年による変化を踏まえても、事業の意義は保たれており、税金を使って実施すべき事業である。	3
	(2) 市民から事業継続の要望が多く、それを裏付ける具体的データや需要予測もある。	5
	(3) 法律等に位置付けられており、市の意思では廃止・見直しができない。	0
	(4) 民間では実施又は適切なサービス水準の確保が困難で、市が主体となって関与すべき事業である。	5
	(5) 休・廃止した場合に、市民に与える影響が大きい。	2
有効性	(6) 事業目的を踏まえた適切な活動指標・成果指標(数値化が困難な場合等は文言により代替的に指標となるもの)を設定している。	5
	(7) 設定した活動指標・成果指標に対する達成度が高い。	3
	(8) 事業の活動量に見合った成果が出ている。	5
	(9) 投入したコスト以上の成果が出ている。	5
	(10) 事業を継続することにより成果のさらなる向上又は適正水準の確保が期待できる。	5
効率性	(11) 時間外の縮減に向けて、定期的に事務の実施手順などを検証し、事務の効率化に向けた見直しを行っている。	3
	(12) 活動指標による単位あたりのコストが、前年度との比較又は最近数年間の推移において、悪化(予定されたコスト上昇等を除く)していない。	5
	(13) 最小の経費で最大の効果が得られるよう、定期的にコストの見直しを行っている。	3
	(14) 他の自治体の手法や体制と比較しても効率的かつ質の高い取組を行っている。	5
	(15) 受益者負担は適切にされている、又は受益者負担を求める事業ではない。	5
透明性・公平性	(16) 特定の個人や団体に受益が偏っていない(不公平感はない)。	5
	(17) 他市や同様のサービスを提供する民間等と比較して、受益者の負担は妥当である。	3
	(18) 積極的に情報公開に努めるなど透明性の向上に取り組んでいる。	5
貢献度	◎ 新生総合計画、市政運営方針、総合戦略等の上位施策のいずれかに位置付けられている場合	
	(19) 事業の対象や意図が上位施策に結びついている。	
	(20) 上位施策への貢献度を成果指標により客観的に説明できる。	
総合点		72

IV 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

(担当課評価) 一次評価	今後の方向性	⇒ 改善点・見直し(案)等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	現状のまま維持 議員へのサポート体制を万全にし、市民へより開かれた議会を実現していきたい

※総合点を踏まえて、今後の事業の方向性を選択するとともに、「何をいつまでにどのように」見直すのかを明確に記入する。

- 【目安】 総合点 80点 以上 : 「現状のまま維持」…より改善できる点を記入
 総合点 50点 以上80点 未満 : 「執行方法等の工夫・見直し」…費用対効果を高める見直し案を記入
 総合点 50点 未満 : 「縮小又は廃止」…廃止・統合を前提に見直し案を記入

(内部評価) 二次評価	今後の方向性	⇒ 今後の方向性等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	現状のまま維持 一次評価のとおり。

外部評価	今後の方向性	⇒ 今後の方向性等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	

4 どのような成果と効果が得られたか。可能な限り定量的に示す。成果と効果を分かりやすく説明する。

<p>得られた成果と効果 (過去との比較検討も含めて)</p>	<p>地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査」においては、順調に順位を伸ばし、直近の2018年調査においても前年同様全国第6位と大いに評価されている。</p>
<p>費用対効果</p>	<p>議会情報の発信は、議会活動を市民に知らしめるだけでなく、市政についての情報提供という面もあり、地方自治の充実において大いに有意義であると考えられる。</p>
<p>事業の将来への見通し及び事業推進に当たっての課題等 (事業を継続することの意義、見込み数の変動等)</p>	<p>「『最近議会は変わった』と市民から言われた」という議員の話を聞くように、取り組みを継続することで、改革の成果が市民の間により浸透していくものと考えられることから、今後も新たな手法等の研究も進めながら、事業を継続していきたい。</p>
<p>他の自治体(同様事業含む)との比較 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、みどり市」については、可能な限り記入する。</p>	<p>前述の「議会改革度調査2018」においては、県内で300位以内にランクインしているのは桐生市議会のみであり、県内議会でのトップランナーである。</p>
<p>その他(特記事項) 本市の優位性・独自性など</p>	

